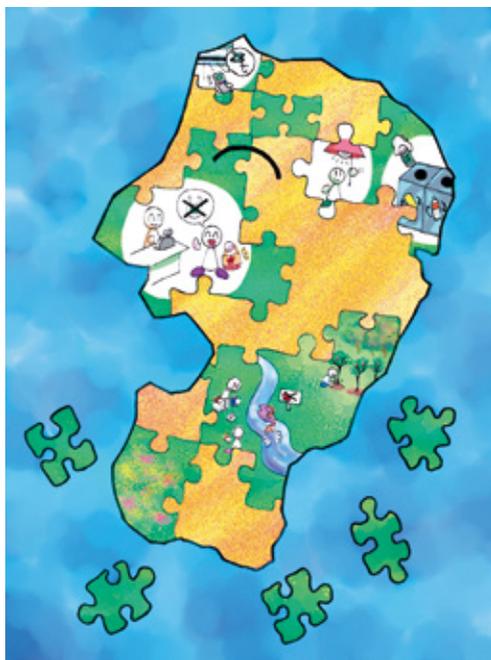




未来の
ために、
いま選ぼう。



温暖化防止活動事例収集・発信事業 「エコカップ やまがた2021」 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～ 活動事例集



庄司萌梨絵さんの作品

～ 「エコカップやまがた2021」とは（趣旨）～

山形県内各地域の温暖化防止や再生可能エネルギーなどの活動事例を収集し、活動事例発表会や冊子等で広く情報発信することで、地域での地球温暖化防止活動や脱炭素社会づくりを一層推進することを目的とし実施しています。

この事業は、環境省間接補助事業（地域における地球温暖化防止活動促進事業）を活用し実施しています。

御 礼

「エコカップやまがた2021」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



2021年8月にIPCCの第6次報告書が公表されました。そこでは人間活動による温暖化が断言されており、異常気象の発生頻度も高まり人類にとって大きな脅威であることを明示しています。しかし温暖化の原因が明確になっても、最大の課題は対策と実行であろう。世界各国が足並みそろえて温暖化防止に立ち向かい、効果を上げることができるかにかかっています。そのため多くの国で二酸化炭素排出量削減に向けての数値目標とタイムスケジュールを掲げています。今後の取組に強く期待せざるを得ません。県内でも多くの方々が多様な切口で温暖化防止に取り組まれており、なかには、様々な工夫を重ねながら10年を超えて続けている事例も多数見られます。

今回で15回目を迎える「エコカップやまがた」もコロナ禍の中にもかかわらず52件もの活動事例が寄せられました。その中から二段階の書類選考を経て、8団体に最終プレゼンをして頂きました。

その結果、嫌気性処理技術（メタン発酵）を用いて牛舎より発生する糞尿の処理とバイオ発電を稼働している東北おひさま発電株式会社様の「バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み」を大賞に、さらにSDGsをテーマに多様な切口から実践活動している県立山形工業高等学校「山工元気プロジェクト」様の「山工元気プロジェクト」を実行委員会特別賞に選ばせて頂きました。

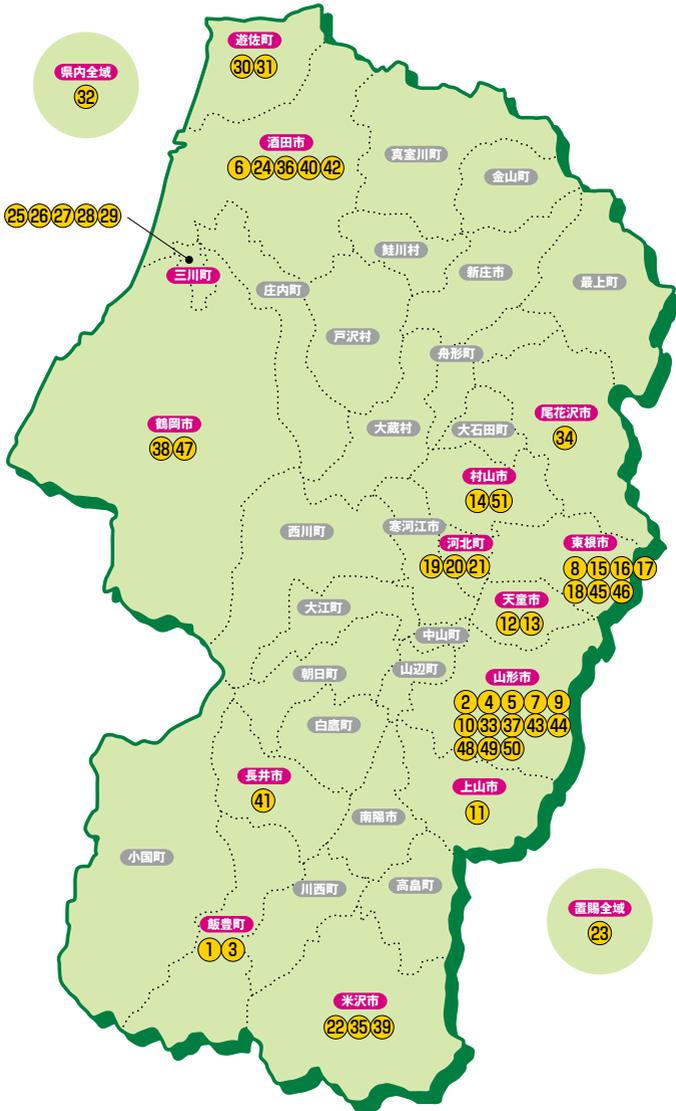
今後ますます温暖化防止に向けた取り組みが強調されていくなかで、皆様方の活動の重要性が一層高まることを見据えながら御礼とします。

【「エコカップやまがた2021」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎 (NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事)
小谷 卓 (鶴岡工業高等専門学校 名誉教授)
石井 秀明 (株式会社山形新聞社 論説委員)
菅原 弘紀 (NPO法人 山形県自動車公益センター 顧問)
荒木 泰子 (山形県環境エネルギー部環境企画課長
(兼)ゼロカーボンやまがた推進室長)

エントリー団体マップ

～どこの市町村で活動しているのかな?～



※マップ内の各番号の団体名、取り組み名称は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

「エコカップ やまがた2021～カーボンニュートラルやまがたを目指して～」

目次

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	1
活動地域マップ	2
目次	3～4
活動事例発表会、脱炭素チャレンジカップについて	5
活動紹介	6～28
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
共催団体の活動等の紹介	29
過去の「エコカップやまがた」大賞団体	30

【活動内容一覧(全活動団体紹介)】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発表 (受賞) 団体	バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み	東北おひさま発電株式会社	飯豊町	①	6
	山工元気プロジェクト	山形県立山形工業高等学校「山工元気プロジェクト」	山形市	②	7
	環境に優しいまちづくりの推進－再生可能エネルギーによる域内循環社会の構築－	飯豊町	飯豊町	③	8
	スクール制服リユース@ブランカ	北日本白衣山形株式会社	山形市	④	9
	地下水を利用した冷暖房システムの適用で、ZEB達成	日本地下水開発株式会社	山形市	⑤	10
	庄内初、水田営農型太陽光発電事業を通じた SDGsの取組み	株式会社メカニック・株式会社アクアレスト	酒田市	⑥	11
	次世代モビリティの積極提案と森づくりを通し地域貢献	山形日産グループ	山形市	⑦	12
	環境製品の開発と普及活動および太陽光発電事業	株式会社山本製作所	東根市	⑧	13
行政・ 地球 温暖 化 対策 地 域 協 議 会	学校のCOOL CHOICEを探そう2020	山形市	山形市	⑨	14
	環境や省エネルギーに配慮した取り組み	山形市西消防署	山形市	⑩	14
	親子で学ぼう！エネルギー回収施設見学とわたりジョーズ君体験&エコ工作	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑪	14
	天童市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金	天童市	天童市	⑫	15
	キャンドルナイトinてんどう2020	天童市地球温暖化対策協議会	天童市	⑬	15
	公共施設グリーンカーテン設置事業	村山市	村山市	⑭	15
	リユース食器事業	東根市	東根市	⑮	16
	環境ISOの取り組み	東根市	東根市	⑯	16
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑰	16
	東根市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金	東根市	東根市	⑱	17
	環境ポスターコンクールの開催	河北町	河北町	⑲	17
生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町	河北町	⑳	17	
太陽光発電システム設置補助事業	河北町	河北町	㉑	18	

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ	
行政・地球温暖化対策地域協議会	米沢市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取り組み	米沢市	米沢市	②②	18	
	地球温暖化防止の周知啓発イベントの開催	置賜地域地球温暖化対策協議会	置賜全域	②③	18	
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	②④	19	
	廃食用油(植物性)の集団回収	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	②⑤	19	
	住民参加型「空き缶回収事業」	三川町、各小学校、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	②⑥	19	
	町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進	三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	②⑦	20	
	町民へのゴーヤ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置	三川町、各小学校、中学校、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	②⑧	20	
	住宅用太陽光発電システム設置補助	三川町	三川町	②⑨	20	
NPO・団体等	手づくり石けんから始まった、母ちゃんたちのまちづくり	JA庄内みどり遊佐女性部「石けん研究会」	遊佐町	③⑩	21	
	鮭稚魚放流会「サケ君たち、生まれた川に還っておいで」Salmons, come home to the born river!	NPO法人いなか暮らし遊佐応援団	遊佐町	③①	21	
	自動車廃材のリサイクル製品でバリアフリービーチを創出	ドリームやまがた里山プロジェクト	県内全域	③②	21	
	家電製品の省エネの使い方及びエコ商品普及	山形県電機商業組合	山形市	③③	22	
企業等	雪氷熱エネルギーで山形の地酒をもっと美味しく【県民参加型再生可能エネルギー事業6号】	農事組合法人ドメーヌ 米酒楽粋(らくしゅらくすい)	尾花沢市	③④	22	
	環境対応型洗浄液「楽落(らくらく)水(すい)」（強アルカリイオン電解水）によって「働き方改革」を実現!!	株式会社エービーエム	米沢市	③⑤	22	
	風力発電事業を通した環境保全活動	加藤総業株式会社	酒田市	③⑥	23	
	ZEBのコンセプトによる管理棟の建築、活用	株式会社クリーンシステム	山形市	③⑦	23	
	天井エアコンの適正運転	株式会社JVCケンウッド山形	鶴岡市	③⑧	23	
	屋根にコケを設置し、エアコンの要らない倉庫を実現	株式会社小島洋酒店	米沢市	③⑨	24	
	風力発電設備・太陽光発電設備の施設見学	合同会社JRE酒田風力	酒田市	④⑩	24	
	エコアクション21を中心とした環境活動	有限会社三立	長井市	④①	24	
	庄内エコ米プロジェクト	株式会社トー屋	酒田市	④②	25	
	ネッツ セーフティー&エコドライブ教室	ネッツヨタ山形株式会社	山形市	④③	25	
	太陽光発電設置 第二期工事	ミドリオートレザー株式会社	山形市	④④	25	
	SDGs体験プログラム	山形中央観光株式会社	東根市	④⑤	26	
	叶理家(カナリエ)プロジェクト	ヤマメイ株式会社	東根市	④⑥	26	
	地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発	株式会社渡会電気土木	鶴岡市	④⑦	26	
	学校	イオン交換樹脂を用いたイオン交換膜による温泉発電	山形県立東高等学校 探究部(イオン交換樹脂発電班)	山形市	④⑧	27
		微生物と生ゴミ処理を融合させた発電方法とその利用	山形県立東高等学校 探究部(微生物発電研究班)	山形市	④⑨	27
温泉と雪で熱発電		山形県立東高等学校 探究部(熱発電班)	山形市	⑤⑩	27	
CAD/CAMの専門技術を生かして廃油から石鹸へSDGsなものづくり		村山産業高等学校 機械科 課題研究班	村山市	⑤①	28	

「エコカップやまがた2021 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～ 活動事例発表会について

令和3年10月23日に開催した活動事例発表会では、報告いただいた全52件の取組みの中から実行委員会より推薦された8団体が事例の発表を行いました。

発表団体のうち、「東北おひさま発電株式会社」に『エコカップやまがた大賞』が、『山形県立山形工業高等学校「山工元気プロジェクト」』に『エコカップやまがた実行委員会特別賞』が贈られました。

【受賞団体】

- ◆**エコカップやまがた大賞**
東北おひさま発電株式会社
- ◆**エコカップやまがた実行委員会特別賞**
山形県立山形工業高等学校
「山工元気プロジェクト」
- ◆**エコカップやまがた賞**
飯豊町
北日本白衣山形株式会社
日本地下水開発株式会社
株式会社メカニック・
株式会社アクアクレスト
山形日産グループ
株式会社山本製作所

脱炭素チャレンジカップ2022

東北おひさま発電株式会社（飯豊町）

「バイオガス発電施設を中心としたリサイクルシステムの確立に向けた取り組み」

【審査委員特別賞】受賞

2022年2月15日に、今回で3回目を迎える「脱炭素チャレンジカップ2022」がオンラインで開催されました。

「脱炭素チャレンジカップ」は、全国の市民・企業・学校・自治体などの多様な主体が取り組む、地域や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の活動を、発表を通じて、取組のノウハウや情報を互いに共有し、さらなる活動に向けて連携の輪を広げていくものです。

全国からエントリーされた団体のうち、厳しい審査を経て選ばれた28団体が、「ジュニアキッズ部門」「学生部門」「市民部門」「企業・自治体部門」の4つの部門別に、4分間のプレゼンテーションを行いました。

山形県からは、「東北おひさま発電株式会社」が出場し、活動を全国へアピールしました。

審査の結果、「審査委員特別賞」を受賞しました。



「脱炭素チャレンジカップ2022」の詳細はホームページ
(<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>)
にてご覧いただけます。

脱炭素チャレンジカップ

検索



エコカップ やまがた 大賞

飯豊町

バイオガス発電施設を中心とした リサイクルシステムの確立に向けた取り組み

東北おひさま発電株式会社 [マップ番号: ①]

飯豊町は米沢牛の主要産地であるが、後継者や環境問題にも影響する牛ふん処理対策が課題となっている。これらの問題を解決すべく、当社では牛ふんを主な原料としたメタン発酵による発電施設の建設を行った。

メタン発酵を密閉された発酵槽内で行うことや、牛ふんを牛舎と発電施設を結ぶ地下パイプラインを通し自動的に搬送することで、移動による臭気発生と牛ふん処理に係る作業量を大幅に低減している。更に、メタン発酵により発生したメタンガスを燃焼し発電することで、当施設における二酸化炭素削減量は最大1,980 t-CO₂/年を予定している。

バイオガス発電所の設置が広くマスコミに取り上げられたことで、関連事業を模索する全国の企業等から注目を集めており、農業関係者や環境問題に取り組む諸団体からの視察は令和3年末で113団体(1,165名)を数える等、山形県飯豊町の認知度向上にも貢献している。

本発電所の運営のため、地元から数名のスタッフを採用し、地元雇用に貢献したほか、肉牛飼育事業者では労力の軽減が図られたことで、新たな事業展開も検討している。





山形市

山工元気プロジェクト

山形県立山形工業高等学校「山工元気プロジェクト」【マップ番号：②】

この取り組みは令和2年度よりSDGs（持続可能な開発目標）実現のために、「今、私たちにできること」をテーマに地域が抱える課題解決に焦点をおき「山形産マンゴー」を栽培から地域創生を考えるプロジェクトである。

食廃油を利用したバイオディーゼル燃料とIoTを活用したスマート農場をキーワードに労働人口減少、エネルギー・環境問題の解決策を模索している。

今年度は近隣から回収した廃食油からBDF（バイオディーゼル燃料）を生成し、IoTにて自動化されたスマート植物工場にてマンゴーを収穫する事ができた。また、収穫前に摘果したマンゴーを再利用した食品の開発にも取り組み始めた。食品ロスの観点からも解決策を模索している。今後はCO₂濃度等のセンシングを行いCO₂回収率を数値化する取り組みや、スマート農場を自家発電で補う実験等に取り組みカーボンニュートラルの実現に向けて更に一步前進していきたい。





飯豊町

環境に優しいまちづくりの推進 —再生可能エネルギーによる域内循環社会の構築—

飯豊町 [マップ番号: ③]

山林面積が町面積の約84%を占めることから、豊富に存在する森林資源を活用したペレットストーブの導入や木質チップを活用した熱供給システムの構築、また、畜産が盛んな町として、家畜排せつ物を利用したバイオガス発電所も行っています。太陽光発電の推進、雪室を活用した雪氷熱の利用、小水力発電などの再生可能エネルギーを活用し、域内循環型社会の実現、脱炭素社会のまちづくりを進めています。

住宅については、県が推奨する「やまがた健康住宅」と連携した「飯豊型エコハウス」を推進しています。県産材・町産材の一定量以上の利用も定め、森林資源の活用とエネルギー消費の削減を実現しながら、心地良い「いいでの暮らし」を提案しています。モデルハウスにおける冬期の電力消費計測によると、推計値で約30%の電気使用量削減の効果があります。

また、飯豊町はSDGs未来都市に選定され、気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言を行い、持続可能なまちづくりを進めています。令和3年2月7日に「飯豊町ゼロカーボンシティ推進シンポジウム」を開催し、約100名の町民と脱炭素社会の実現に向けて、私たちの暮らしの中でできることはなにか、を町全体で学びました。





山形市

スクール制服リユース@ブランカ

北日本白衣山形株式会社 [マップ番号: ④]

活動のきっかけは、PTA活動の中であるお母さんから「制服を捨てるのはもったいない」という話を聞いて弊社でも何か力になれないかと考えました。そしてY-bizさんからもご助言をいただき皆様のご協力のもとスタートすることができました。

令和元年10/20リサイクルの日より山形市内小・中・高校の制服と体操着の買取をスタートしました。通常制服には刺繍等で個人名が入っていますが、それを弊社では外す、目隠しをする等を縫製業務で、さらに刺繍部門にて新たに入れ直すこともできます。またクリーニング取次も行っておりますので全てがワンストップにて完了できます。もともと制服は丈夫に作られております。しかも思い出のたくさん詰まった制服をただ捨ててしまうのはもったいない!リフォームして後輩達に使ってもらえたら環境的にも経済的にもメリットがあります。この活動が結果的に持続可能な生産活動「より少ないものでより多く、よりよく」に繋がっていると気づきました。ものを大切に使う心を伝え、思い出の詰まった制服を次の世代へ繋ぐことで地域の結びつきも強くなりますことを祈念しております。





山形市

地下水を利用した冷暖房システムの適用で、ZEB達成

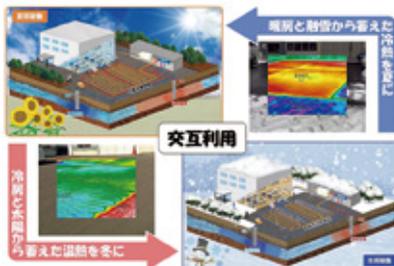
日本地下水開発株式会社 [マップ番号: ⑤]

100%の『ZEB』を達成する高効率帯水層蓄熱システムを導入した建物が完成した。高効率帯水層蓄熱システムは、地下水の熱エネルギーを地下に広がる帯水層に蓄熱して、冷暖房・融雪・給湯を効率的に行う技術である。冷暖房では、夏の冷房排熱(温熱)を暖房熱源に、冬の暖房排熱(冷熱)を冷房熱源に利用する。路面に埋設された融雪に使われる放熱管に地下水を通すことで、冷温熱を増強するのがこのシステムの特徴だ。再生可能な熱エネルギーである地下水を利用し、ランニングコスト・CO₂排出量を夏期冷房では64%削減、冬期暖房では58%削減することができる。

『ZEB』完成後、県内各地から見学者を受け入れ、地下水を有効利用した本システムの環境性、省エネ性能、雪国での有効性を説明する機会が増えた。今後加速する脱炭素の流れに乗り、高効率帯水層蓄熱システムの導入を促進し、2050カーボンニュートラルの実現に向け研究開発を続けたい。



IGD 高効率帯水層蓄熱冷暖房システム





エコカップ やまがた賞

酒田市

庄内初、水田営農型太陽光発電事業を通じたSDGsの取り組み

株式会社メカニック・

株式会社アクアクレスト [マップ番号: ⑥]

令和3年5月28日、メカニックが営農する水田に、庄内初、営農型太陽光発電「ひらた石橋ソーラーファーム」の運転開始。①地球温暖化による環境変化に対応②中山間地域の人口減少の緩和③食料自給率の維持と改善の3点に取り組む。FIT価格の収益の地域還元目的で、災害時活用できる非常用コンセントを備えた街路灯を設置。

県内外13社の参画で「水田オーナー制度」をあらたに実施。生育状況をSNS等で配信し、収穫後は40kg /アールの精米をお届け。

7月17日、ゲストに山形住みます芸人ソラシド、講師に東北芸術工科大学三浦秀一教授を迎え、「住みます芸人からみた山形のSDGs—エネルギーの地産地消と農業の未来を考える」をテーマに地域の皆様と一緒にSDGsを考えるシンポジウムを開催。

NPOと連携し、中学校総合学習で、営農型太陽光発電の見学、SDGs学習の講師を務め、施設の維持管理だけではなく、SDGsの普及啓発活動を担う。





エコカップ やまがた賞

山形市

次世代モビリティの積極提案と 森づくりを通し地域貢献

山形日産グループ [マップ番号: ⑦]

自動車業界は「百年に一度」といわれる変革期に直面しています。山形日産グループは、電気自動車を普及させて地球温暖化に歯止めをかけること、自動運転化を促進することで交通事故を減少させることに取り組んでいます。

令和2年度には、山形市並びに尾花沢市と防災協定を締結し、山形市内7か所の公民館にV2Hシステムを寄贈するとともに、災害等の停電時に電気自動車から公民館へ電気を供給するシステムを構築しました。

また、平成29年度から「ニッサンの森」として県、朝日町と協定を結び、森林の保全活動に取り組んでいます。ニッサンの森【朝日白倉】では、平成29年度から令和2年度までの4年間の間伐によりCO₂吸収量が743.97t-CO₂となりました。

これらはまさに、「持続可能な社会」をつくるSDGsの取組です。

平成17年度から現在まで、自動車環境マイスター制度に取り組み、エコカーやエコドライブを普及する活動を行っており、平成22年度からはNPOと連携し、県庁前に電気自動車用急速充電器を設置。その運用や普及啓発活動を実施しています。





エコカップ やまがた賞

東根市

環境製品の開発と普及活動および 太陽光発電事業

株式会社山本製作所 [マップ番号: ⑧]

いのちを支える食と環境の分野に携わるメーカーとして、当社は様々な商品・サービスを提供しています。

昨年は、新たにプラスチック材質判別装置「ぶらしる」を販売。リサイクルの現場で欠かせない材質判別業務を、誰でも・簡単に・同じ基準で行うことを可能にしました。その結果、材質不明で処分せざるを得なかったものがリサイクル可能になっています。

また、2003年より販売中のペレットストーブは、間伐材や製材所から発生するおが屑など未利用材から生まれた木質ペレットが燃料。

「炎のある暮らし」を楽しむことで、結果として自然に「CO₂の削減・エネルギーの地産地消・森林再生」に貢献することができます。

また、敷地内の太陽光発電設備は、1.9メガワットと工場の使用電力を上回る発電量があり、“もの”だけでなく“エネルギー”をつくる活動を行っています。



山形市

学校のCOOL CHOICEを探そう2020



山形市 [マップ番号: ⑨]

高校生や大学生を対象に、日ごろ通っている学校の中で、COOL CHOICEなものや取り組みを見つけ「COOL CHOICEで楽しいスクールライフ」をキーワードに発表する事業を行いました。

参加者は事前に、COOL CHOICEについて説明を受け、その後学校でCOOL CHOICEなものを各自探し撮影しました。

発表当日はオンラインで各会場をつなぎ、一人ひとり写真にキャッチコピーを添えて自分が見つけた「COOL CHOICEなもの」について発表を行いました。また、今後に向けての提案も併せて行いました。事業実施により、参加者が地球温暖化対策に関心を持ってもらうきっかけとなりました。

山形市

環境や省エネルギーに配慮した取り組み



山形市西消防署 [マップ番号: ⑩]

西消防署本署の新庁舎は、平成24年10月1日から運用を開始しました。

建物は免震構造で、敷地内には自家用給油取扱所、自家用発電設備、ヘリポートを備えており、大規模災害の発生時には災害対応の拠点として位置づけられる施設です。

また、環境や省エネルギー活動にも配慮し、敷地内に最大限の緑地を確保するとともに、庁舎建物南側壁面上部に合計90㎡のソーラーパネルを設置することで、温室効果ガス排出量の削減に努めています。

上山市

親子で学ぼう!エネルギー回収施設見学とわたりジョーズ君体験&エコ工作



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑪]

小学生と保護者等を対象にエネルギー回収施設(川口)の見学とエコ工作等をとおして、親子で地球温暖化防止等に関心を持ってもらうことを目的に開催しています。併せて交通安全教室も行っています。2021年度は、小学生16人、保護者等16人が参加。

安藤昭さん(県環境科学センター)の指導で段ボール等を再利用した「ジャイロ口ひこうき」づくりに挑戦しました。完成後に室内で飛ばしてみると子どもたちは「次は家の外でもっと飛ばしたい」と喜んでいました。

天童市

天童市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金



天童市 [マップ番号: ⑫]

地球温暖化の防止に寄与するため、住宅用太陽光発電システムを新たに設置する個人に対し、補助金を交付しています。補助金額は1kW当たり30,000円(上限120,000円)です。太陽光発電設備と併せて設置する蓄電池設備も補助対象となり、

補助金額は補助対象経費の10分の1(上限100,000円)です。

また、木質バイオマスを燃料とするペレットストーブ等の暖房機の設置にも補助金を交付しており、補助金額は補助対象経費の10分の1(上限100,000円)です。

天童市

キャンドルナイトinてんどう2020



天童市地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ⑬]

令和2年12月19日(土)に第14回目のキャンドルナイトを開催しました。

新型コロナウイルス感染対策のため規模を縮小しての開催となりましたが、「電気を消してスローな夜を」を合言葉に、市内のお寺などから譲り受けた廃ろうそくを再利用したキャンドルを天童駅前広場に並べ、幻想的な雰囲気を作り出しました。

キャンドルの光が灯る中、地球温暖化防止や日頃のライフスタイルについて、ゆっくりと見つめなおす機会となりました。

村山市

公共施設グリーンカーテン設置事業



村山市 [マップ番号: ⑭]

夏季の省エネと地球温暖化防止のため、公共施設のグリーンカーテン設置に取り組んでいます。

令和3年度は、保育施設や学校など8施設でグリーンカーテンを設置し、直射日光が遮られ、エアコンの設定温度を抑えることができました。また、窓辺の緑が職員や児童に涼しさを提供してくれました。

東根市

リユース食器事業



東根市 [マップ番号: ⑮]

ごみの発生抑制及びリユース意識の啓発、ごみの減量化を図ることを目的に、市内の町内会や子供会等の団体が、飲食物を提供するイベント等の事業を実施する際、繰り返し使用できる飲食容器（リユース食器）の借用費用を、東根市環境衛生組合連合会が負担しています。

東根市

環境ISOの取り組み



東根市 [マップ番号: ⑯]

東根市は、平成13年10月に山形県内の自治体で初めてISO 14001の認証を受け、現在もその認証を唯一継続している環境先進都市です。市が環境ISOの認証を受けた事をきっかけに、地域・学校・家庭など身近なところで環境保全意識が広がってきています。平成29年度には、山形県が創設した「山形県地球温暖化対策推進事業所登録制度」へ登録され、地球温暖化防止のため事業所としても取り組みを進めています。

また、令和2年1月31日には、2050年までに温室効果ガスまたは、二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする事を目指す「ゼロカーボンシティ」の表明を、県内自治体に先駆けて行いました。

今後も、環境ISOの取り組みを積極的に行う事で、自然豊かな住みよい環境を守り、次代に継承していきたいと思ひます。

東根市

環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号: ⑰]

例年11月中旬に「環境週間ひがしね」というイベントを開催しています。市民、事業所、行政が一体となって環境問題に取り組むことを目的に、平成17年度から実施しています。

令和3年度は、ゼロカーボンポスター・絵画コンクールに応募があった作品、カーボンニュートラルに関するパネル、市内各小中学校の環境保全活動の紹介パネルを展示いたしました。

東根市

東根市住宅用太陽光発電システム設置支援事業費補助金



東根市 [マップ番号: ⑱]

東根市では地球温暖化防止対策の一環として、平成21年度より住宅用太陽光発電システムを設置する住民の方に対して補助金を交付しています。

太陽光発電設備の設置と併せて設置する蓄電池設備も、補助対象としております。補助金額としては、太陽光発電設備が1kWhあたり30,000円で、上限額は既築、新築ともに120,000円、蓄電池設備が1kWあたり20,000円で、上限額は既築、新築ともに100,000円となっています。

令和2年度の補助金交付件数は53件です。

河北町

環境ポスターコンクールの開催



河北町 [マップ番号: ⑲]

ポスターの作成を通じて、児童の環境保全、環境美化及びリサイクルに対する意識を高めるとともに、将来にわたっての地球環境の保全のための一助としました。

また、コンクール応募作品は町内に掲示し、環境保全の意識改革のため広く町民に周知しました。

さらに、最優秀作品は、環境問題啓発ポスターとして、町内全地区及び町の施設、各学校などに掲示しました。

- ・コンクール作品展示(全作品) 令和3年10月
- ・環境問題啓発ポスターの配布・掲示(最優秀作品) 令和3年11月

河北町

生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町 [マップ番号: ⑳]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以上の額(3,000円限度)です。

河北町

太陽光発電システム設置補助事業



河北町 [マップ番号: ㉑]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネや再生可能エネルギーの利用が求められており、河北町では平成23年度から太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。平成27年度から町内の事業所への設置

にも対象を拡大し、さらに、令和2年度からは、設置場所について敷地内の附属建築物(別棟を含む)及び土地(建築物の存する土地の隣接地も含む)にも拡大しました。

補助額は、1kWあたり30,000円(4kW上限)です。

米沢市

米沢市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取り組み



米沢市 [マップ番号: ㉒]

米沢市は、「米沢市地球温暖化対策実行計画」を策定し、「低炭素循環型社会の構築」、「再生可能エネルギーの導入」、「森林等の吸収源対策」を施策の柱として温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

令和2年10月8日には、国に先駆け、将来の望ましい環境像として掲げる「豊かな自然に抱かれ人と環境にやさしく快適で美しいまち」の実現と、かけがえのない自分たちの故郷を未来の世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の表明を行いました。

今後も、挑戦と創造の精神で2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、実現に向けて取組を進めていきます。

置賜全域

地球温暖化防止の周知啓発イベントの開催



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号: ㉓]

当協議会では、地球温暖化防止のイベントを平成21年度から開催しています。

令和3年度は飯豊町で、地球温暖化防止に関する家庭のアクションのアンケートを記入しながら、家庭における地球温暖化防止のための行動を振り

返るイベントを開催し、約160名もの幅広い年代の方から参加いただきました。

このイベントを契機として、多くの参加者の方に地球温暖化防止に関心を持っていただきました。

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号: ㉔]

緑のカーテンは、つるが伸びる植物を育てて壁や窓をカーテンのように覆うことで、夏の暑さを和らげようとするものです。室内温度の上昇を防ぎ、快適に過ごすことができれば、エアコンなどの使用を控え、エネルギー消費を減らすことにつながります。簡単に

できる省エネ・地球温暖化対策として市役所でも平成20年度から取り組んでいます。

平成26年度からは、より多くの市民や事業所の方からも取り組んでいただくためにゴーヤの種と育て方の手引を無料で配布しています。今年度は、個人の方(約270世帯)や事業者、公共施設に約10,080粒配布しました。(平成22年度～25年度まではゴーヤの苗を配布していました)

三川町

廃食用油(植物性)の集団回収



三川町、各町内会、
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉕]

平成21年度から、各家庭の廃食用油(植物性)を各町内会で設置した回収ボックスにより回収しています。各町内会から回収された廃食用油は、事業所から回収された廃食用油とともに鶴岡市内の民間工場バイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルされています。そのことにより、ごみ総量の減量が図られるとともに、町民の環境保全に対する意識啓発等に繋がっています。

なお、令和2年度は、各町内会から655リットルの廃食用油を回収しました。

三川町

住民参加型「空き缶回収事業」



三川町、各小学校、各町内会、
三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉖]

各家庭から排出される空き缶を各町内会が設置した回収ボックスで分別回収することにより、ごみ総量の減量とCO2の削減、環境保全の意識啓発を図りました。令和2年度は、アルミ缶が4.8t、スチール缶が1.9t、合計で6.7t回収しました。

また、町立横山小学校、東郷小学校、押切小学校の3小学校で実施している空き缶回収は、令和2年度にアルミ缶とスチール缶合計0.5tを回収しました。

三川町

町内会等集団資源回収、資源リサイクルステーション、資源ポストによる資源リサイクルの推進



三川町、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ⑳]

各家庭から排出される資源ごみについて、各町内会等による集団資源回収、町公民館駐車場に設置した資源リサイクルステーションと資源ポストで回収することにより、ごみ総量の減量とCO₂の削減、資源リサイクルの意識啓発を図りました。

令和2年度は、集団資源回収を26町内会で延べ63回実施し、資源リサイクルステーション及び資源ポストを51日開所しました。その結果、集団資源回収では計143t、資源リサイクルステーションでは計83t、資源ポストでは計12t、使用済小型家電は1.5t、合計で239tの資源ごみを回収しました。

三川町

町民へのゴーヤ種の配付及び公共施設、保育園・幼稚園へのグリーンカーテンの設置



三川町、各小学校、中学校、みかわ保育園・幼稚園、各町内会、三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: ㉑]

希望する町民へゴーヤ種の無料配付（令和3年度は63世帯と3事業所、66袋）及び公共施設等へのグリーンカーテンの設置（令和3年度は、役場等の公共施設3ヶ所、保育園・幼稚園1ヶ所の計4ヶ所に計38ポット）を行いました。

町民にグリーンカーテンの設置を奨励するとともに、公共施設等へグリーンカーテンを設置し、室内温度の上昇防止によるエアコン等の稼働抑制が図られ、CO₂の削減、地球温暖化防止の意識啓発に繋がっています。

三川町

住宅用太陽光発電システム設置補助



三川町 [マップ番号: ㉒]

一般家庭での省エネ、新エネルギーの導入を積極的に進めるため、平成26年度

より太陽光発電システム設置費用の補助を行っています。

町の補助金の額は、1kWあたり3万円（上限12万円）です。

令和2年度の補助金交付件数は3件で、太陽光発電設備最大出力合計では19.46kWでした。

遊佐町

手づくり石けんから始まった、母ちゃんたちのまちづくり



JA庄内みどり遊佐女性部「石けん研究会」 [マップ番号: ③⑩]

1974年より、合成洗剤の河川水汚染対策として、廃食用油石けんづくりを始めました。

その後、石けんプラントを稼働させ、粉石けん、JAのリサイクル石けんの販売や町内各小学校高学年を対象に石けんづくりの出前授業を開始しました。

令和3年度の石けんづくり教室は、小学生や一般など23名で行いました。

石けんづくりは、原料は学校給食から出る廃食用油リサイクル活用

石けんづくりは、農と漁業の明日をつくる、遊佐のスローライフ活動

遊佐町

 鮭稚魚放流会「サケ君たち、生まれた川に還っておいで」
 Salmons, come home to the born river!


NPO法人いなか暮らし遊佐応援団 [マップ番号: ③⑪]

移住・定住支援を行う、いなか暮らし遊佐応援団では、ふるさとへ帰るサケの母川遡上にならない、子供たちや町民を対象に、地元、升川鮭漁業生産組合協力のもとで、毎年、旅立ちするサケの稚魚放流会を開いてきました。

環境学習から始まった活動は、縄文海進の気候変動を生き抜いたサケの適応力を支援する視点が拓けました。

私たちは遊佐町の自然と伝統的な営みの中にある宝、スローなテンポを未来の地域づくりに活かす力を育みます。サケは今や地球温暖化に向けたSDGs、地域が目指す低炭素社会のシンボルです。

県内全域

自動車廃材のリサイクル製品でバリアフリービーチを創出



ドリームやまがた里山プロジェクト [マップ番号: ③⑫]

障がい者と健常者が共に楽しめる海水浴場を創出する。

そのため、砂浜を車イスやベビーカー等、普段は通行できない人達も、砂浜に入れるための通路を敷設する。

その通路に使用するのが、自動車の古タイヤをリサイクルし製造したゴムマット、90cm×1.8mサイズ100枚。今回リサイクルした古タイヤは大型トラックのもので、通常はチップにし、燃料として消費している。

CO₂削減にも寄与できたゴムマット製造。

また、酒田市・遊佐町との連携により、この取り組みは来年以降の展開します。

山形市

家電製品の省エネの使い方及びエコ商品普及



山形県電機商業組合 [マップ番号: ③③]

山形県電機商業組合は、県内の街の電気屋さん
が会員となっている団体です。

地球温暖化防止、省エネルギー、グリーン購入等
の情報を提供し、消費者がより環境負荷が少ない製
品を適切に選ぶことができるように促す店頭販売員

である「環境マイスター」の養成を行っています。

環境マイスターは、毎年のフォローアップ研修の開催でスキルアップを行うとともに、店頭などでお客さんに、省エネ家電の性能や家電の省エネ方法などを伝えています。また、出前講座の開催、イベントでの啓発活動を行い、省エネ家電のPRを行い、脱炭素に向けた取組に寄与しています。

尾花沢市

雪氷熱エネルギーで山形の地酒をもっと美味しく
【県民参加型再生可能エネルギー事業6号】

農事組合法人ドメーヌ

楽酒楽粋(らくしゅらくすい) [マップ番号: ③④]

当組合は山形県内で生産不可能と言われた酒米
「山田錦」栽培を主に、尾花沢市民雪蔵研究会の会員
として毎年市内企業と協力して再生可能エネルギー
の普及活動を行っており、「山形県県民参加型再生

可能エネルギー事業」認定6号～雪蔵の雪氷熱を活用した地酒熟成の取り組み～
を2016年より酒蔵と協業で行なっています。リターナル瓶や簡易パッケージデザイ
ンを推奨し、地域の行事や農作業体験の受け入れを積極的に行っています。

米沢市

環境対応型洗浄液「楽落(らくらく)水(すい)」
【強アルカリイオン電解水】によって「働き方改革」を実現!!

株式会社イービーエム [マップ番号: ③⑤]

令和元年より清掃作業で使用する洗剤を「強アルカリイ
オン電解水」に変更しました。化学物質の使用量を削減する
とともに、強力な洗浄効果を発揮し、汚れを落としたあと
は通常の水に戻るので「すすぎのいらぬ洗浄液」です。

全ての現場の「アルカリ性洗剤」を置き換えることで、環
境への配慮、および従業員の作業効率化を実現し、CO₂
削減、そして「働き方改革」に繋がりました。

令和2年度より一般のお客様への販売をスタートし、ご家庭や一般企業、官公
庁での環境の取組へ寄与しています。

酒田市

風力発電事業を通じた環境保全活動



加藤総業株式会社 [マップ番号: ③6]

昔は厄介者扱いされていた地域の環境特性である風を活かす風力発電事業に2002年から関わり、弊社関連の大型風車が20基あります。総発電量は年間約92,000MWhになり、炭素を必要としない発電を続ける事で年間約42,600トンのCO₂削減に繋がり、

カーボンニュートラル社会の実現に貢献しています。

発電場所である遊佐町に緑化整備活動支援として毎年寄付させて頂き、また、酒田市では海岸清掃を行っています。今後も地域に根差した地元企業として地域社会の進歩発展に貢献し続けます。

山形市

ZEBのコンセプトによる管理棟の建築、活用



株式会社クリーンシステム [マップ番号: ③7]

当社は、建物等の解体工事やリサイクルを中心とした環境事業を展開しており、地球環境に配慮した企業を理念としています。

このたび新しく建設した管理棟は、従来の建物と比べてエネルギー消費を50%削減する省エネ、さらに太陽光発電による創エネにより、建物全体で消費するエネルギー消費量が実質0を達成する建物（ZEB）として設計されました。

全国的にもまだ事例が少ないZEBへの取組を先駆的に採用することで、環境事業者として地域社会全体をけん引し、また脱炭素社会の構築を目指して参ります。

鶴岡市

天井エアコンの適正運転



株式会社JVCケンウッド山形 [マップ番号: ③8]

これまで生産フロアにて、天井エアコン化、ハイブリッドファン装着行いましたが、天井高4m、計測器等の排熱等で体感温度にばらつきが生じることがラインごとに温度設定を行っていました。

そこで別部門で実績のある温度検知を外部センサーへ変更し実際の温度に近づけることができ、設定温度のバラつきの抑え、緩和、空調負荷低減、省エネに繋がっています。

23℃設定でしたが人と同じ高さに外部センサーを取り付けることにより、設定温度を下げてても体感温度が下がることなく作業への影響も無くなり、生産効率が上がりました。

米沢市

屋根にコケを設置し、エアコンの要らない倉庫を実現



株式会社小島洋酒店 [マップ番号: ③9]

弊社の山形物流倉庫の屋根にコケボードを敷く事で、エアコンのない倉庫を実現し、省エネ対策を行った。コケボードは、暑さ5cmの断熱材と組み合わせており、断熱効果が優れていて、省エネと熱中症対策になった。

コケボードを開発した株式会社モス山形と連携し、7箇所温度計を設置し測定、その結果、外気温度が36℃の場合、室内温度が7℃も低く、涼しさが実証された。倉庫内で働いている社員も涼しさを実感しており、働きやすい環境を作ることが出来た。

酒田市

風力発電設備・太陽光発電設備の施設見学



合同会社JRE酒田風力 [マップ番号: ④0]

2004年1月より16,000kw (2,000kw×8基)の風力発電設備による発電事業を行っており、年間発電量は風車8基合計で約40,000,000kwh、CO2に換算すると21,800tを削減しています。また、

JREでは、(株)酒田港リサイクル産業センターと共同で2018年1月より酒田北港地区で太陽光による発電事業 (28,500kw) も開始しています。

令和2年10月に、NPO法人ギズドアがサポートし、中高生を対象とした風車のバーチャル見学会をリモートで実施しました。

長井市

エコアクション21を中心とした環境活動



有限会社三立 [マップ番号: ④1]

エコアクション21を中心とした環境への取組みを活動中です。

CO₂排出量は、開始時比で78%の削減を達成。また、当社独自の取組みも行っています。

1. 奉仕活動

産業団地内の清掃活動を、所属社員全員参加で行っています。

県道、側溝の清掃や除草を行い、花壇も設置し景観保全を行っています。

2. 社内コミュニケーション

環境標語の募集や社内向け環境情報誌を発行し、社員の環境意識向上と環境情報の共有を図っています。

酒田市

庄内エコ米プロジェクト



株式会社ト一屋 [マップ番号: ④2]

これまでは全て焼却していたゴミを、平成26年から「生ごみ」と「可燃一般ごみ」に分別し、外部委託により肥料化を進めてきました。

生ごみをリサイクルした有機肥料を使い、鶴岡・藤島の農家グループが環境に優しい循環型の農法で米作等を行っており、そのお米を仕入れ、販売する「庄内エコ米プロジェクト」を構築しました。

令和3年産の「エコ米（はえぬき）」を使って日本酒づくりにも着手しています。生産農家さん、酒蔵、小売店さんと連携することで、さらに「庄内エコ米プロジェクト」が波及することを期待しています。

山形市

NETS セーフティー&エコドライブ教室



ネットヨタ山形株式会社 [マップ番号: ④3]

店舗にお客様をご招待して、エコドライブの座学・実践を行っています。（1回目試乗⇒座学⇒2回目試乗）

試乗での燃費を比較して、エコドライブの良さを体感して頂きます。併せて、トヨタ車の先進安全機能のご紹介と体感をして頂き、安全なエコカーでエコドライブ

を実践する事が「環境にも優しく」「交通安全」にも繋がる事をご理解頂きます。

2014年がエコドライブ活動のキックオフ。全社員がエコドライブについて学び、翌年からお客様向けのエコドライブ教室を開催。2019年までの5年間で37回、420組のお客様からご参加頂きました。

2020年度はコロナ禍の為、開催中止。2021年度は、開催予定。（10月予定）

山形市

太陽光発電設置 第二期工事



ミドリオートレザー株式会社 [マップ番号: ④4]

太陽光発電を2021年6月に108.5kW増設しました。

CO₂の削減効果としては、工場で使用する電力のおよそ2%を賄い、94026kg-CO₂削減予定です。（予想発電量計：180,127kWh、CO₂換算）

東根市

SDGs体験プログラム



山形中央観光株式会社 [マップ番号: ④5]

令和3年5月に、村山地域在住者対象のSDGs体験プログラムを実施した。この活動には小学校1年生～60代までの県民16名が参加。戸沢村つのかわの里において、地元NPO法人の方々と連携し、森林の活用について学んだ。また、製材所、バイオマス工場の見学も行い、CO₂削減の必要性と取り組みも肌で学ぶことが出来た。

その後も、温海地域・長井市・遊佐町・飯豊町で、環境問題や地元での取り組みを学ぶためのSDGs体験プログラムを実施した。

東根市

叶理家(カナリエ)プロジェクト



ヤマメイ株式会社 [マップ番号: ④6]

私たちは、「一般家庭でできるエコ」を推奨した住宅を見て・触れて・学べる未来型体験住宅展示場を企画運営し、今年の1月にオープンしました。

10年前からゼロエネルギー住宅や低炭素住宅・長期優良住宅に取組み、今回も共通ルールとして、やまがた健康住宅認証制度やBELSを6社全社取得。山形県の寒い冬でもヒートショックにならない安心して暮らせる住まいづくりを提供しています。断熱強化・太陽光発電・蓄電池・V2Hなど最新の省エネ住宅を展示場で体感することができ、ユーザーのみならず、市町村職員の方からも見学いただいています。

鶴岡市

地域資源のリサイクル活用と再生可能エネルギーの普及と開発



株式会社渡会電気土木 [マップ番号: ④7]

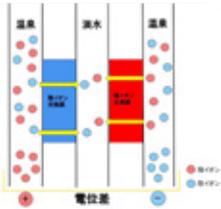
当社は再生可能エネルギーの生産を通して地球温暖化防止に取り組んでいます。

主要な取り組みとして、庄内地方のクロマツ、スギの間伐材を原料とした燃料用木質ペレットを山形県内を中心に年間約2,000トン供給しています。

また、庄内地域を中心に発生する針葉樹、広葉樹の間伐材を原料とした発電用木質チップを年間約10,000トン生産しています。

山形市

イオン交換樹脂を用いたイオン交換膜による温泉発電



山形県立東高等学校

探究部 (イオン交換樹脂発電班) [マップ番号: ④8]

カーボンニュートラルの意識が高まる中、エネルギーの多様化が重要になってきている。そこで私たちは新たな発電方法として温泉のイオンとイオン交換樹脂による発電を試みている。先行研究として海水を用いてイオン交換による発電が研究されているが、数多く存在する温泉を利用することで観光地として利用されている温泉では観光地のアピール、未利用源泉ではその温泉の有効利用ができるのでは考えている。現在、発電可能なことは確認できたので実用化に向けた改良を行っている。

山形市

微生物と生ゴミ処理を融合させた発電方法とその利用



山形県立東高等学校

探究部 (微生物発電研究班) [マップ番号: ④9]

私たちは微生物発電について探究しています。この微生物発電は近年、クリーンエネルギーとして注目されており、化石燃料を一切使わず、身近にある土と水で簡単に発電装置を作ることができます。私たちはこの装置にさらに有機物として、生ゴミの活用を考えています。このことで、今まで焼却ゴミとして出されていた生ゴミの一部をエネルギーとして再利用することを可能になり、これが各家庭に普及すれば、ゴミが減少し、最終的な埋立量も減らすことが可能になります。

山形市

温泉と雪で熱電発電



山形県立東高等学校

探究部 (熱電発電班) [マップ番号: ⑤0]

山形県の特徴に温泉と降雪量が挙げられます。この2つの要素が揃っているのは山形県以外にほぼなく、私たちはこの特徴を利用して、クリーンエネルギーを生み出せるのではないかと考え、ペリチェ素子による発電方法の研究を進めています。現状では、感染拡大の影響によって、山形への観光が難しい状況になっていますが、新たな発電の実践地域として話題を呼ぶことで、温泉に新たな価値が付与され、観光業を活気付けられたらと考えています。

村山市

CAD/CAMの専門技術を生かして廃油から石鹼へSDGsなものづくり



村山産業高等学校

機械科 課題研究班 [マップ番号: ⑤]

私たちは、CAD/CAMの専門技術で3Dプリンタを使ったものづくりの研究をしています。この技術を活かして、校章等をデザインした石鹼の型を作りました。また、東根市長瀬地区の婦人会から石鹼づくりの講習を受け、型を使った石鹼づくりを行いました。その石鹼を本校オリジナルの石鹼として販売する予定です。廃油から石鹼へ、私たちはSDGsなものづくりを行い、CO2排出の削減に努めます。

* 活動事例発表会の様子(令和3年10月23日)



発表の様子



集合写真



表彰式の様子

当日の様子はホームページ
(<https://eny.jp/eco-cup/index2021>)
 からご覧いただけます。



「エコカップやまがた」
 ホームページもご覧下さい。

エコカップやまがた

検索

山形市

～2050年カーボンニュートラルの実現に向け～
自動車に係わる環境保全等、事業活動（支援、含む）について

NPO法人 山形県自動車公益センター

自動車業界は、今まさに「100年に一度の変革期」を迎え、今後、加速度的に進むであろう自動車の電動化推進等、産業構造そのものが大きな変化となり、地方における社会生活全般の基盤自体を見直すべき時期にきております。

そのような状況下、2020年10月に宣言された「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、より環境に配慮した次世代自動車(HV・PHV・電気・燃料電池等)の普及は必須であり、業界全体の諸課題として課せられた使命をクリアするべく、これまで以上の取り組みが求められております。

また、世界的共通課題の一つである「地球温暖化防止」に向けた対応等、未来に生きる子どもたちに「より環境・人に優しい山形」を継承して参るべく、2021年3月にオープンいたしました【(株)山形県自動車リサイクルセンター/自然エネルギー館】の活用を始め、さまざまな体験を通じ、循環型社会づくりを学ぶ知育の場の提供等、環境保全に係わる新たな価値の創造に繋がるよう活動の支援に努め、かつ、2015年国連サミットにて採択された【持続可能な開発目標 (SDGs)】の推進に貢献できますよう、日々努めて参ります。

【NPO法人 山形県自動車公益センター】

<http://www.yauto-center.net/>

【(株)山形県自動車販売店リサイクルセンター】

<http://www.yauto-rc.co.jp/>

【(一社)日本自動車販売協会連合会山形県支部】

<http://www.yamagata-jada.jp/>



ミニ熱帯植物園



自然エネルギー館



東根市立大森小学校様・見学

過去のエコカップやまがた大賞受賞団体



2008年度

山形県立置賜農業高等学校（川西町）
「MOTTAINAIプロジェクト」



2015年度

庄内町地球温暖化対策地域協議会
（庄内町）
「庄内町町民節電所」事業



2009年度

山形県立東根工業高等学校（東根市）
「ものづくりプロジェクト
～手作り太陽電池パネルから
広がる世界のCO₂削減～」



2016年度

南陽市（南陽市）
「地域材を活用した木造公共施設
（南陽市文化会館）」



2010年度

港屋商事株式会社（河北町）
「古紙回収を通じての環境保護活動」



2017年度

東根市（東根市）
「環境ISOの取組」



2011年度

山形県立米沢工業高等学校（米沢市）
「米エゼロエミッションプロジェクト」



2018年度

みちのく屋台こんにやく道場（山形市）
「やまがた「生ごみやさいくろ」
で就労支援」



2012年度

山形県立山形工業高等学校
環境システム研究会（山形市）
「リサイクルDEボランティア」



2019年度

ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
「自動車部品のリサイクル活動を通じた
海洋ゴミ削減と安全意識向上事業」



2013年度

山形県立東根工業高等学校（東根市）
「続ける手作り太陽電池パネルと
資源の有効活用
～持続可能なまちづくりのために～」



2020年度

ドリームやまがた里山プロジェクト（県内全域）
「自動車の廃材を活用した
バリアフリービーチの構築」



2014年度

株式会社滝の湯ホテル（天童市）
「人と環境に優しい宿づくり」



2021年度

東北おひさま発電株式会社（飯豊町）
「バイオガス発電施設を中心とした
リサイクルシステムの確立に向けた取り組み」

温暖化防止活動事例収集・発信事業 「エコカップ やまがた2021」 ～カーボンニュートルやまがたを目指して～ 活動事例集

【製作（主催）】

「エコカップ やまがた2021」実行委員会

【共 催】

NPO法人山形県自動車公益センター、山形県環境保全協議会

【後 援】

山形県、山形県教育委員会

【事務局】

山形県地球温暖化防止活動推進センター

【発行日】

令和4年2月25日



エコペンは、山形県地球温暖化防止活動推進センターのマスコットキャラクターです。

【本冊子についての連絡・問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。

再生紙を使用しています。



環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。